

## 広島国際大学看護学ジャーナル投稿規程

1. 本誌の名称は「広島国際大学看護学ジャーナル」とし、原則として年1回発行する。
2. 本誌を発行する目的は次のとおりとする。
  - 1) 看護学の学術的な発展に寄与する。
  - 2) 学部内に共通の研究発表の場を提供するとともに、専攻を超えた学際的共同研究活動を促進する。
  - 3) 論文発表の機会を提供する。特に、若手教員および大学院生に論文をまとめる経験の場を提供する。
  - 4) 広島国際大学看護学部および広島国際大学大学院看護学研究科、助産学専攻科の研究・教育活動に関する外部への情報発信を行う。
3. 掲載される原稿は次のとおりとする。
  - 1) 総説：看護学や医療に関わる特定のテーマについて多面的に内外の知見を集め、また文献等をレビューして、当該テーマについて総合的に学問的状况を概説し、考察したもの。
  - 2) 原著論文：研究論文のうち、研究そのものが独創的で新しい知見が論理的に示されており、看護学や医療の知識として意義が明らかであるもの。
  - 3) 研究報告：内容・論文形式において原著論文には及ばないが、研究結果の意義が大きく、看護学や医療の発展に寄与すると認められるもの。
  - 4) 実践報告：医療等の現場や教育現場での実践報告で、発表の価値が認められるもの。
  - 5) 資料：調査や事例から得られたデータをまとめ、資料的価値が高く、編集委員会が適当と認めたもの。
  - 6) その他：公開講座や講演会の報告など、編集委員会が適当と認めたもの。
4. 投稿資格  
広島国際大学看護学部教員とその関係者、および2の4)に示す研究者
5. 原稿の審査
  - 1) 投稿原稿の掲載の可否は、編集委員が依頼した2名の査読者による審査をもとに決定する。その結果、著者に修正・加筆を求めることがある。論文の内容により必要に応じて学部外の専門家に査読を依頼することもある。
  - 2) 採用に際し、原稿の種類の変更を求めることがある。
  - 3) 倫理上問題となるものは採用しない。
6. 執筆要項
  - 1) 原稿は和文または英文とし、ワードプロセッサによりMS明朝及びCenturyの書体を用いて作成する。なお、和文の文献では記号、数字、英語は半角入力とし、コンマとピリオドは全角入力とする。A4版1ページに和文の場合40字×30行、英文の場合はダブルスペースで作成する。
  - 2) 原稿の様式  
原稿は以下の構成に従うものとする。
    - (1) 表紙：原稿には表紙を付け、表題、著者名、所属、5語以内のKeywordsをいずれも和文、英文で記載し、連絡先（電話、Fax、E-mailアドレスを含む）を明記する。なお、英文表題は、文頭のみ大文字とする。
    - (2) 論文要旨：総説、原著の場合、和文400字以内、英文要旨は原著論文のみ250 wordsで表記する。報告、資料は和文要旨250字以内で表記する。要旨の形式として、背景、目的、方法、結果、結論の順番で文章を構成する。
    - (3) 本文
  - 3) 原稿作成上の留意事項
    - (1) 投稿原稿の1編は本文、文献、図表を含めて下記の文字数とする。単位および単位記号は国際単位制度に従うものとする。

	和文	英文		和文	英文
総説	12,000字以内	4000 Words	資料	12,000字以内	4000 Words
原著論文	16,000字以内	5000 Words	その他	12,000字以内	4000 Words
研究報告	12,000字以内	4000 Words			

- (2) 章、節、項などをもうける場合は、以下に従うものとし、インデントは下げない。
- I.
  - 1.
  - 1)
  - (1)
- (3) 文献記載の様式は『APA 論文作成マニュアル』の最新版に準じることとする。  
各文献（英文）の記載例は『APA 論文作成マニュアル』を参照することとし、和文の記載例は以下に示す。なお、記号、数字、英語は半角入力（ただし、コンマとピリオドは除く）とする。
- ①雑誌掲載論文  
宇野真由美, 小笠原知枝 (2007). 静脈注射実施過程における指差呼称の効果, 医療の質・安全学会誌, 2(2), 157-165.
  - ②編集された書籍の論文あるいは章（雑誌掲載以外の論文）  
東優子(2000). ジェンダー指向をめぐる医療と社会, 原ひろ子, 根村直美(編), 健康とジェンダー, 205-223. 明石書店, 東京.
  - ③単行本  
保坂隆 (1996). 精神医学へのアプローチ, 南江堂, 東京.
  - ④翻訳書  
Gergen, K. J. (1994: Realities and Relationships: Soundings in social construction) / 永田素彦, 深尾誠 (2004). 社会構成主義の理論と実践—関係性が現実をつくる, ナカニシヤ出版, 京都.
  - ⑤電子資料  
【政府機関や民間組織の文書】  
文部科学省, 厚生労働省 (2005). 疫学研究に関する倫理指針, 2006年4月18日引用  
<http://www.mext.go.jp/shinkou/seimei/epidemiological/0412280.htm>.
- (4) 図、表および写真は、図1、表1、写真1等通し番号をつけ、本文とは別に一括する。挿入希望位置は原稿右詰欄外にそれぞれ朱書きする。なお、サイズの目安は次の通りとする。  
A4 1 ページ分：3000文字

## 7. 原稿の提出

- 1) 原稿の提出期限は、編集委員会で決定して通知する。
- 2) 英文（抄録、本文とも）に関しては、ネイティブチェックを受けることを原則とする。
- 3) 原稿（表紙、図、表を含む）は正1部、副2部を添えて提出する。副2部については、氏名等執筆者を特定できる情報を消去したものを提出する。  
原稿の提出先は、広島国際大学看護学ジャーナル編集委員会メールボックスとする。郵送の場合は、封筒の表に「広島国際大学看護学ジャーナル投稿原稿」と朱書きし、下記に郵送する。  
〒737-0112 広島県呉市広古新開5-1-1  
広島国際大学看護学部内「看護学ジャーナル」編集委員会 宛
- 4) 掲載決定後は、A4サイズにプリントアウトした最終原稿1部とUSBメモリを添えて前述の3)に提出する。

## 8. 校正

著者校正は原則として2回のみとする。著者校正時の大幅な加筆訂正は認めない。

## 9. 別刷り、カラー印刷は有料のこともありうる。

付則：この規程は、2014年4月1日より施行する。

## 編集後記

皆様に、広島国際大学看護学ジャーナル第14巻1号をお届けします。まず、お忙しい中、投稿および査読頂いた先生方に心より感謝申し上げます。お蔭をもちまして、本巻は、原著4編、研究報告4編、その他1編の合計9編の論文を収載することができました。どの論文も大変興味深い内容で、編集委員一同もまた、研究意欲がさらに奮起される思いでした。

広島国際大学看護学ジャーナルは、研究や学術的な取り組みを世の中に発信・公表し、看護学の発展に貢献しています。今後とも本誌が、さらなる看護学の学術的な発展に寄与できるよう、皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

(北村万由美)

## 編集委員

委員長 秋山 智  
委員 島谷 智彦, 岡田 ゆみ, 北村万由美  
坂村 八恵, 石原 克秀, 梅田 弘子  
俵 由美子, 中吉 陽子, 築谷 祐季

査読者 島谷 智彦, 秋山 智, 江口 瞳  
川井 八重, 下見 千恵, 松本 睦子  
水野 敏子, 三並めぐる, 山崎登志子  
岡田 ゆみ, 二井矢清香, 濱井 和子

広島国際大学看護学ジャーナル 第14巻 第1号

2017年3月31日 発行

発行：広島国際大学看護学部

〒737-0112 広島県呉市広古新開5-1-1